

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称: 社団法人 長野県介護福祉士会	所在地 〒380 - 0836 長野県長野市南長野南県町 1001 番地 3 ロワール丸ビル 4F
評価実施期間: 平成 23 年 11 月 2 日から平成 24 年 2 月 14 日 契約日から評価結果報告会日まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 050431 061252 061262	

2 福祉サービス事業者情報（平成 24 年 2 月現在）

事業所名:室賀デイサービスセンター	種別:通所介護
代表者氏名:代表者 竹内広光 :管理者 倉島和彦	定員: 30 名
設置主体:社会福祉法人上田しいのみ会 経営主体:社会福祉法人上田しいのみ会	開設 年月日 平成 6 年 7 月 1 日
所在地:〒386-1541 長野県上田市上室賀 19 番地	
電話番号 : 0268-31-0005	FAX : 0268-31-0008
ホームページアドレス: http://www2.ocn.ne.jp/~whotommy/newpage16.htm	

3 評価結果総評（利用者調査結果を含む）

総評

事業所は、上田市街地のほぼ西側に位置し、春はうぐいすが鳴き、秋は稲穂の垂れるのどかな山間地にある。近くには「室賀温泉」があり、通所事業所の入浴はそこからの引き湯として利用者の方に喜ばれている。

経営母体である「社会福祉法人上田しいのみ会」は、福祉に対する熱意が強く、昭和 53 年に身体障害者施設を開設し、複数の障害者施設を順次整備してきた。その後、平成 6 年に高齢者施設を開設し、福祉ニーズに総合的に対応できるサービスの展開を進め、地域住民の高い信頼を得ている。

通所介護事業所は、高齢者総合施設「室賀の里」の一角にあり、平成 6 年の特別養護老人ホーム開所と同時に出発している。現在は介護保険サービス、介護予防サービス、市の委託を受けた健康づくり高齢者事業等多彩な事業を展開している。

法人全体の事業所に経営理念が明確に示され、幹部会議において、サービスの質の向上を常に旗に上げ、ゆるぎない指導力を発揮している。また、職域を越え全職員を対象とした定期的研修を行ない、理念の総合的理解や浸透を図っている。すべては利用者の方の幸福のために「温かい心」が職員に浸透して、はつらつとした明るい雰囲気醸し出している。

地域の交流やボランティア等の受入も積極的に行なわれ、地域に根ざし安定的なサービスが提供されている。

特に良いと思う点

1.安心安全な介護の提供

法人としての理念と基本方針は、長い歴史の上に確立されており、研修会や掲示資料により職員全体に周知徹底されている。通所介護を担当する職員も、はつらつとして仕事に向かう姿勢や、利用者一人ひとりに接する姿から、人権を尊重する理念の実践が読み取れ「温かい心」を象徴するものとなっている。また、緊急時や災害時に備えた体制が整い、利用者の方の安全を確保する仕組みや取組みが行なわれている。

通所事業所の特徴となっている室賀温泉からの引き湯による入浴サービスと、豊かな食材による食事メニューが利用者の方から好評である。利用者の方からの要望にも謙虚に耳を傾け、要望や提案に対して直ぐに対応できる体制が整い、満足度が高い。また、医療との連携が綿密に行われ、医師の訪問診療が定期的実施されており、疾病の早期発見につながり、安心できる日常が提供されている。

2.確立されている経営理念

社会福祉法人しいのみ会は設立から今日までの長い歴史的経過の中で、法人としての福祉理念が明確に確立されており、その理念に基づき、利用者ニーズに合ったサービスが各事業所で提供されている。また、単年度目標だけでなく、中長期的ビジョンが策定されており、それに合わせた人事体制が生まれ、具体的プランに向けた取組みが行なわれている。

職員の意見を取り入れたり、改善事項を提案できる仕組みがあり、職員が示した改善提案を採用されることにより、職員のモチベーションの向上に繋がっている。また、そうした職員の積極的な行為は人事考課制度に反映されている。

3.地域への積極的貢献

法人をはじめ、各事業所の地域福祉向上に対する取組みはとても熱いものがあり、地域公民館活動（敬老会、運動会等）に参加し、介護予防の指導や寸劇などの出前講座を定期的に行なっている。それにより、地域住民との連携を深め、ボランティアの育成にも貢献し、福祉施設・事業所の機能を地域へ還元している。その中で、地域ニーズを先端で受け止め、地域福祉活動の拠点としての役割を担っている。

4.職員の生き生きした支援

通所介護の職員をはじめ法人全体の職員が挨拶、礼儀等のマナーがしっかりしており、利用者の方と接する姿勢も意欲的であり、明るく生き生きした支援の実践が行なわれている。

改善が必要と思われる点

法人としての理念・基本方針が確立されており全職員に浸透しているが、利用者の方や家族の方に対しての細部にわたる説明が不足しているので、説明方法や資料など更に工夫され周知されると良い。利用者サービスについては、通所介護事業所としての具体的目標や事業計画について不明快な部分が見受けられる。更に一歩進んで個別性に配慮したサービス提供のための、具体的目標やマニュアルの整備が求められる。そして、文章化したものが記録として蓄積されていくことが望ましい。

デイサービスの管理者、リーダーの志は高く、地域福祉に邁進している姿が見られるので、事業所のサービスの質の向上に向けた評価や改善策について、その実施内容等が文面化され、記録として整備されることを期待したい。職員体制や役割についても更に工夫され、職員のストレスを受け止める仕組みの確立を望みたい。職務の委譲や分担が明文化されると、職員の意欲向上にも繋がり、更に尊厳を支え、その人らしさを支え、今以上の利用者の方の満足につながることを期待したい。

